



武生商工高の校旗を持つ豊北県教育長(右)と柄田校長=7日、県庁

武生商工高の校旗披露

校長に授与「愛される学校に」

4月に開校した武生商工高の校旗が7日披露され、豊北欽一県教育長から同校の柄田正行校長に手渡された。柄田校長は「丹南地域のみならず必要とされ愛される学校をつくっていく」と語った。校旗は早速、同日の入学式で飾られた。武生商工は武生商と武生工を統合した総合産業高校。校旗に描かれている校章は、商業(コマージュ)と工業(テクニカル)の英

語の頭文字「C」「T」を掛け合わせたデザインになっている。考案者は、3月に武生商を卒業した堀井愛里さん。

県庁で行われた授与式で、豊北教育長は「両校が培ってきた伝統を受け継ぎ、地域の期待にこたえる高校としてさらなる発展を遂げてほしい」と期待した。武生工は1959年、武生商は65年に設立した。

(堀英彦)